

2024年度（令和6年度）
特別選抜（社会人）試験問題

小論文

（経済学部）

解答時間 90分

問題用紙4枚（表紙を含む）

注意 解答はすべて解答用紙に記入すること。

2024年度（令和6年度）

大分大学経済学部特別選抜

（社会人）試験問題

[小論文]

以下の4問のうち、1問を選択して解答してください。

解答用紙の所定欄に、選択した問題の番号を記入してください。

文字数は800字から1000字（句読点を含む）にまとめてください。

問1 日本経済が低迷しているのは労働生産性が低いためであり、その問題を解決するには雇用慣行を改め労働市場の流動化を進める必要があるとの議論があります。そのため近年では欧米で主流な「ジョブ型雇用」を導入する企業が増えつつあります。一方、日本では「メンバーシップ型雇用」の下で長期にわたり人材を育成し経済成長を支えてきたのであり、「ジョブ型雇用」はなじまないとの意見もあります。図表1を参考にして、日本企業が「ジョブ型雇用」を導入することについてのあなたの考えを述べてください。

図表1 2つの雇用形態の特徴

| | ジョブ型 (欧米中心) | メンバーシップ型 (日本) |
|----------|--------------------|----------------------|
| 職務内容 | 職務記述書で規定 (専門職型) | 限定しない (総合職型) |
| 賃金 | 業務の市場価値での決定 | 働き手の経歴や勤続年数 などが左右 |
| 人材の流動性 | 高い | 低い |
| 標準的な採用形態 | 経験者採用 | 新卒一括採用 |

出典：日本経済新聞 2022年1月10日付より一部抜粋・改変

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO79083790Z00C22A1NN1000/>

2024年1月12日閲覧

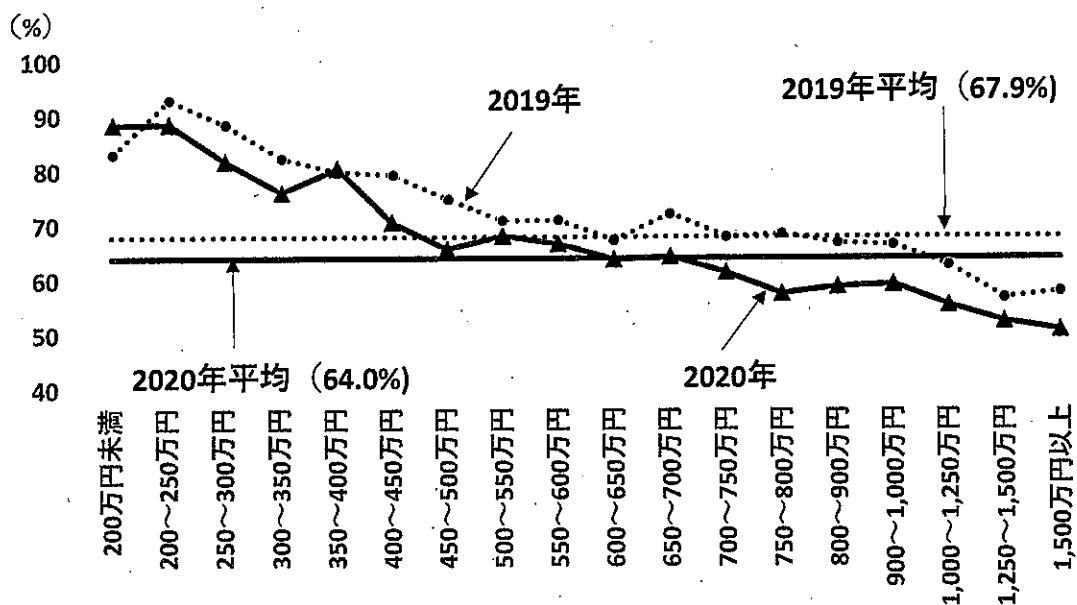
問 2 賃金が伸び悩む中、学生時代に奨学金を借りた人の経済的負担の高まりが社会問題となっています。また、現役生にとっても、「授業料の値上がり」や「親側の可処分所得の減少」などから、とりまく環境は厳しくなっています。日本の奨学金制度の中心である日本学生支援機構（JASSO）では2017年に、返済を必要としない給付型奨学金を創設しましたが、現在奨学金を受けている学生の7割が貸与型であるといわれ、給付型が充実している欧米と比較すると低水準です。全大学を無償化にするべきであるとの議論もあるものの、財源の問題も考慮する必要があります。「奨学金問題」についてのあなたの考えを述べてください。

問 3 平均気温が上昇する地球温暖化に加え、干ばつや豪雨などの異常気象による自然災害などの気候変動問題は、昨年夏に、国連のグレートス事務総長が「地球温暖化時代は終わり、地球沸騰の時代が来た」と危機感を示したように、世界で深刻な社会問題となっています。ただ、一般には地球温暖化のリスクが認知されているものの、そもそも気候変動は先進国のこれまでの経済活動によるものであるとする「先進国主要責任論」や、経済発展のスピードの違いによる新興国と開発途上国の意見の食い違い、またそれぞれの国でも環境重視派や経済成長派の対立などがあり、なかなか解決には至っていません。どうすればこうした意見の違いに対処し、気候変動問題に取り組むことができるか、あなたの考えを述べてください。

問 4 新型コロナウイルス感染症拡大に対する経済対策として、2020年度に政府は国民1人当たり10万円、総額12.8兆円を給付しましたが、消費を押し上げる効果はあまりなかったと評価されています。同年4月の段階で内閣府の試算によれば総額12.8兆円のうち55%が消費に回るというものでしたが、その後6月までのデータを用いた民間の試算では2割から3割の効果しかありませんでした。平均消費性向が変わらなければ所得が増えた分消費支出も増えるはずですが、ところが2020年の平均消費性向*（全勤労者世帯ベース）は64.0%と、給付金がなかった2019年の67.9%から3.9ポイントも低下しています。もともと所得が一定水準を下回った世帯に30万円を配るといった内容だったものの、スピードや公平性を重視して一律10万円となった経緯があります。図表2は2019年および2020年の勤労者世帯の年間収入別にみた平均消費性向を示したものです。これを参考にして、この経済対策に対するあなたの考えを述べてください。

注：平均消費性向とは、可処分所得に対する消費支出の割合のことです。

図表2 年間収入別階級平均消費性向* (勤労者世帯)



出典：総務省統計局ホームページ「家計調査報告」データベースより作成

<https://www.stat.go.jp/data/kakei/sokuhou/tsuki/index.html> 2024年1月12日閲覧